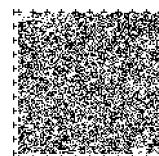
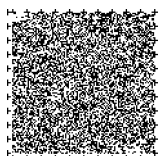


Ⅲ. 計画の推進のために



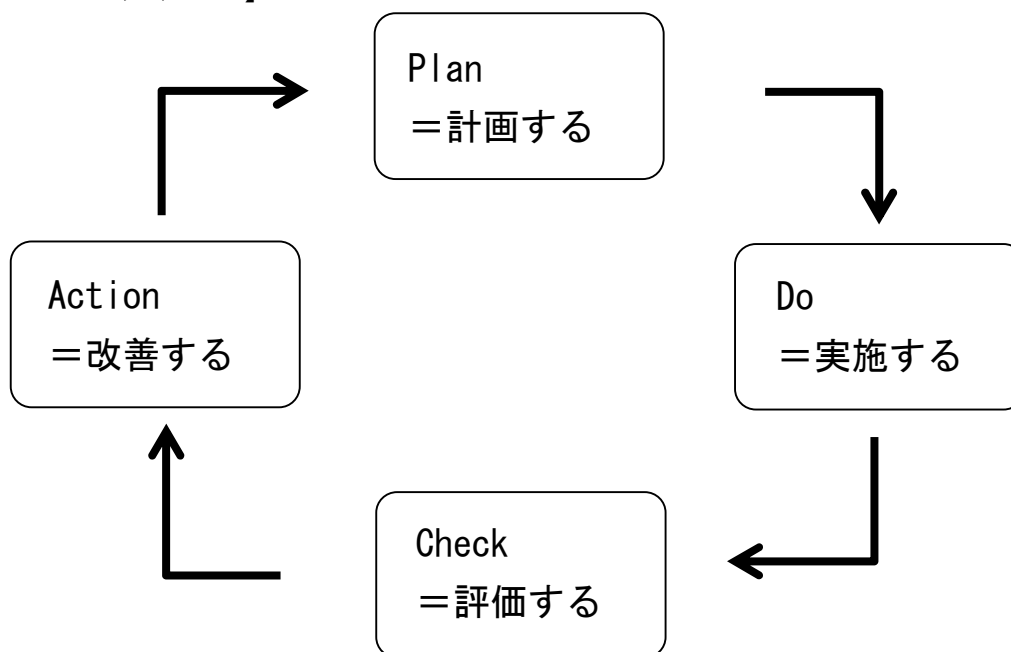


[1] 計画の進ちよく管理・評価

計画の推進にあたり、青梅市地域福祉計画等進ちよく状況調査委員会により、毎年、施策・事業の取組み実績を報告し、進ちよく管理を行います。また、横の連携を進めつつ、情報の共有化を図ります。

計画策定後は、P D C Aサイクルの考えに従い、施策・事業の実施・評価・改善を行い、次期計画の見直しにつなげていきます。

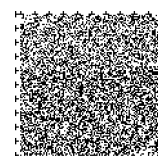
【P D C Aサイクル】



[2] 行財政の環境

本市を取り巻く行財政の環境は極めて厳しい状態が続いています。このような状況の中で、多様化するニーズにこたえ、地域福祉を推進していくには、行政、地域住民、事業者や福祉活動者がそれぞれの役割と責任を認識し、お互いに協力し合い、将来を見据える中で、行財政環境にも留意していく必要があります。

また、国や東京都で実施している施策や事業、補助制度等を最大限に活用するなど、財源確保に努めます。



[3] 各種連携・協働による地域福祉の推進

1 市民等との協働

少子高齢化や生産年齢人口の減少が進み、行政だけでできることはこれまで以上に限られていくことが予測されます。市民活動団体等や人材の育成を推進するとともに、市民等との協働による地域福祉の推進を図ります。

2 青梅市社会福祉協議会との連携

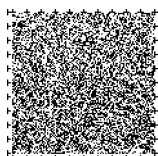
地域福祉を推進していく上で、青梅市社会福祉協議会との連携・協働はさらに重要性が高まっています。福祉のコミュニティづくりと地域福祉の推進を目指して、事業を支援します。また、青梅市社会福祉協議会で作成している「地域福祉活動計画」との整合を図ります。

3 関係機関との連携

地域福祉を推進していく上で、各種センターなどの専門性を活かしたネットワークづくりに向けて、情報交換の場をつくるなど、相互の連携を進めます。また、自治会や民生委員・児童委員、ボランティア・NPOなど、地域活動団体等との連携強化を図ります。

4 庁内の関係部署との連携・情報共有

効果的・効率的な施策・事業の推進に向けて、庁内の関係部署との横のつながりがさらに重要になってきています。関係部署が同じ方向に向かって施策・事業を推進していくためにも、計画を周知し、各種連携・情報共有を図ります。また、福祉分野との連携・協力の他、福祉のまちづくり、安全・安心のまちづくり、健康づくりを進めます。



5 「ぷらっとフォーム」の活用

本計画では、第6次青梅市総合長期計画において、施策連動型のしくみとして作られた「ぷらっとフォーム」の手法を積極的に活用し、その5つの主要テーマである「安心して暮らせる青梅」、「子育て世代が住みたい青梅」、「生きる力がみなぎる青梅」、「みんなが誇れる青梅」および「何度も訪れたくなる青梅」をもとに、横の連携や施策の組み合わせにより地域福祉の推進を図ります。

